【解答例】
・club
・I was a member of the soccer team. I was not a good soccer player. So I practiced hard with my friends every day. I enjoyed talking with them after we practiced it. I learned a lot of things from my friends and soccer. (5 文)

これでマスター!!　新潟県公立高校入試　難問「自由英作文」傾向と対策

■傾　向　～どんな問題が出題されるのか傾向を押さえよう!!～

1 新潟県公立高校入試で出題される英作文は、指示された条件に合わせて、4～5 行以内で自由英作文を書く問題です。
実際出題された内容としては、
・資料のデータを参考にして、指定のテーマについての発表内容を書く自由英作文。
・届いたメールの内容に対して返事を書く自由英作文。
・質問に対する答えとその理由を書く自由英作文。など、いろんなターンが想定されます。

2 出題形式は、今後も変更があると思われますが、指定された条件にもとづいて自分で考えたことや自分の身近なことなどを、基本的な英語で表現する出題内容は続いていくものと予想されます。

3 公立高校入試の自由英作文における、過去３年間の配点・正答率は、次の通りです。配点が 10 点程度ですので、正答率はかなり低いと言えます。
・H29年度　（配点）10点（正答率）33.6%
・H30年度　（配点）10点（正答率）39.2%
・H31年度　（配点）10点（正答率）38.8%

■対　策　～学習方法だけじゃなく、解答の仕方もポイント!!～

1 書く内容

最近では、質問に対する答えや、自分が行った選択に対する理由を英作文にて書くという問題が出題されています。自分の考えをわかりやすく簡潔にまとめる練習が必要となります。

2 文法について

伝えたい内容を正確に表現するには、文法を意識することが大切です。

・基本的な文法事項を使って英文を書くようにしましょう。
自由英作文で問われているのは、正しい英文による表現力なので、基本的な英文を書くようにします。
高校入試の解答を見ても、関係代名詞や分詞などの高度な文法事項を使わないものが大半です。
確かな文法で間違いのない単語を使った英作文を心がけましょう。

・表現しきれない英文は、表現しやすいもので書くようにしましょう。また、長い英文は２文にすると書きやすくなります。

（例）「私にはオーストラリアに住んでいるおじがいます」

高度な文法表現→・I have an uncle who lives in Australia.

もっと簡単な表現でＯＫ→・I have an uncle in Australia.

長い場合は２文に分けることも→・I have an uncle. He lives in Australia.

3 解答の語数

・「4 行以内」「5 行以内」という指定はあいまいですが、解答欄・模範解答から考えると、「4 行以内」は40語程度、「5 行以内」は 50 語程度と考えられます。

・解答の語数が足りない場合は、全体のまとまりに配慮しながら、英文を付け加えて適切な分量にふやすことが必要です。

4 出題形式、出題内容

・「自己紹介」「親友の紹介」「自分の町・学校の紹介」「将来の夢」「休日にしたいこと」「日本の代表的な文化」などを、簡潔な英文で書けるようにしておきましょう。

5 教科書の英文活用

・ある程度のまとまった分量の英語を書くには、授業で暗唱した英文などをもとにして、自分の考えを整理し、まとめる練習が効果的です。

・英語学習をする際に最も身近にある「教科書」を使った事前対策の方法を、次にまとめますので、参考にしてください。

① 英文を覚える

・教科書の中にある「メール」「手紙」「インタビュー」「スピーチ」「レポート」「日本の文化」等の内容は自由英作文に利用できる内容です。メールに関する英文は必ず覚えておきましょう。

② 英文を探す、書いて見直す

・教科書の英文の中に、自由英作文に使えるものがあるかどうかを意識して学習していると、使えそうな英文が多いことに気がつきます。使えそうな英文はノートに書いて見直しましょう。

③ 自分自身に合った英文にする

・教科書にある英文を、自分自身の内容に合った英文になるように、単語・文法などを追加・変更して英文をつくる練習は、自由英作文の効果的な学習方法です。

・また、自由英作文の解答を使って、同じように英文変更の練習をしてみましょう。

・作った英文に自信のないときは、英語の先生に見ていただきましょう。

■「覚える」「探す、書く、見直す」「自身に合った英文にする」という行為

自由英作文に使用できる英文を「覚える」「探す、書く、見直す」「自身に合った英文にする」という行為は、英語学習において、次の効果があると考えられます。

①「英文を覚える（暗記）」

単語や文法を使う基礎となります。

②「英文を探してノートに書く、繰り返して見る」

英文を暗記することを促がし、英語学習の意識化を助けます。

③「自分自身に合った英文にする」

単語や文法を工夫して使うことによって学習内容が定着し使える英語になります。